

# 風の流氷

### ◆ 一般投稿作品 ◆

広報委員会 選

冬百日 蕪生 千石人 五千

福留 ともり

椎茸の相寄る傘に 山時雨

森本 純喜

我が庭にコスモス散りて 菊咲けり

有澤 春江

初日出る水平線をふくらませ

森田 菊恵

南天に取り囲まれし里の家

山崎 寿美

満天にきらめく星はわが夫か

林田 幸子

風花に乱世重ねて見てをりぬ

岡本 朴舟

秋遍路異郷者同士和む宿

高野 和一

銀杏を拾う老婆の脊に西陽

北村 千鶴子

言霊のささやき聞こゆ冬銀河

山崎 貴子

門扉閉づ冬満月を正面に

千頭 野草

干し柿もたつぷり浴びる冬日かな

三谷 誠郎

春障子我子は里に定住す

森本 幸美

柿の実の二つ残して収穫日

小野寺 朱実

八十五才背すじのばして夫の初春

小原 るり

七草やあふるるほどの恵みかな

小原 景守

### ◆ かがみ野俳句会 ◆

一輪に空氣和らぐ冬蓄微

佐竹 洋子

押入の出し入れ重し冬隣

鍵山 和枝

年迫る三年日記婆も買ふ

佐藤 幸

てくてくと雨の室戸路秋遍路

利根 弘子

袖垣に音無くつもる散り紅葉

古川 信子

枯菊を労ふこころ持ちて刈る

小松 愛子

### ◆ 蕪 句 会 ◆

つなぐ手の母の温り薄蒲団

中澤 美晴

古壺に頭垂れたり椿の実

森本 健代

山里の風に色あり干大根

山崎 鈴子

冬麗の大作キルトに佇ち尽す

吉田 芳

引き合はぬ百姓と思ひつ 錨初

吉村 幹愛

冬木の芽ほんのり紅を萌しけり

公文 春紀

一羽だけ騒ぐ鴨みて群乱る

岡本かほる

落葉して樗身軽となりけり

高橋 章

焚く竹の爆ずる笹も十二月

北村 幸子

冬木根の歩幅に段をなすところ

甲藤 卓雄

寒林や音たてて湧く寺清水

野崎 典子

流れ落つ水音昏るる鴨の声

北村 里子

綿虫や了へし試験に子の笑顔

明石 英子

歳暮返し千切干を取り敢へず

竹内 ろ草

### ◆ かほく俳句会 ◆

熟柿落つ惜命の色地に広げ

乾 真紀子

老いてなほ心に張りを冬日燦

奥宮さとみ

落葉焚く遠き思ひも焚きにけり

久保 貴女

煤払ひ百年を越す戸の軋み

黒岩 幸女

世の隅に生きて師走の神だのみ

黒岩千英子

打ち下す遂の一鍬日短

小松志津男

寄る歳に苅田売ること赦されよ

小松 隆之

大根干す曇りて晴れて山家かな

小松 完

風花や誰も居らない納屋の音

小松 昇

転がされたる古徳利年詰まる

前田 欣一

あれやこれ庭繕ろへば神渡し

前田 秀女

寒晴れや寺経蔵の屋根の反り

間崎 和代

あをあをと老いの畑に十二月  
小春日の広縁に読む文芸欄  
深落葉踏みてたつきの水を引く  
この月は柚子の月だと思ひけり  
一斉に飛び立つ鳩や落葉舞ふ  
小春日や庭の手入れの捗りぬ

森本 之子  
山崎 かずみ  
山中 晶子  
山中 瑞輝  
杉山 春萌  
山中 明石

### ◆ 土佐山田町俳句会 ◆

落葉踏む庚申堂の夕間暮

前田 小夜

十二月の柱にかまど神の札

前田美智子

冬つらら0系ひかりのラスト・ラン

安丸 慎子

木枯しを聞く逆さまの化粧瓶

橋本 昭和

何事もなければ福か暦果つ

明石 菲生

開戦といふ日もありし十二月

中沢としみ

あり余る陽をいっばいに実南天

大石 邦男

風の夜は風に流され鼻啼く

樫谷 雅道

落葉掃く箒の先の風遊び

田村 一翠

柚子風呂に身を沈めれば柚子踊る

西川 常夫

### 俳句・短歌の投稿方法

▼ 投稿方法は自由。(ただし、ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで5句(首)以内)

▼ かい書で、住所、氏名、電話番号を必ず明記してください。

▼ 誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】 企画課内広報委員会事務局 俳句・短歌係

〒782-8501 香美市土佐山田町宝町1-2-1

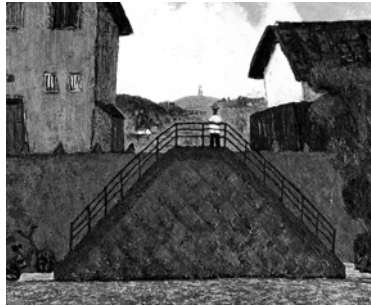
「片木太郎の世界 一木版・油彩画の魅力を探る」 2月14日(土)～3月22日(日)

香美市立美術館

アートの窓



街の階段



旧旭水道局裏



日頃皆さまからご要望の多い片木太郎さんの作品展を開催します。今回は、生前、高知市民図書館に寄贈された木版画78点全作品と、油彩画の代表作を展示し、片木太郎さんの作品の魅力をつぶりと味わっていただける展覧内容になっています。

1926年(大正15年)高知市生まれの片木さんは、51年高知大学教育学部在学中、第5回高知県展洋画部門に初入選し、その後第16回高知県展で3度目の特選を受賞し、無鑑査となります。69年には県展審査員を務め、県展出品とともに個展も精力的に開催し、96年には高知県展功労者表彰を受けます。残念ながら99年4月に逝去されますが、数多くの素晴らしい油彩画や版画作品を残してくださいました。今回は妻の英子さんのご協力を得て、残された作品の中から代表作を

選び、展示させていただきました。

写真の油彩画『街の階段』は、黄色と青色の対比が美しい片木さんの代表作です。高知市を流れる鏡川の堤に登る八の字形の階段、川は見えていないのですが、川向かいの高見の山が家と家との間に見えています。階段の上にいる作者自身と思われる帽子をかぶった人物像が、この風景画をより味わい深い詩情豊かな作品にしています。

もう一つの木版画『旧旭水道局裏』は、片木さんが油彩画でも描いている、お気に入りの場所だったようです。高知市内のあちこちを自転車で回り、気に入った場所をさまざまな角度から見てスケッチし、その中から素敵な木版画の作品が生まれてきています。魅力あふれる「片木太郎の世界」をたっぷりご堪能ください。お待ちしております。

(館長・北 泰子)

第3回新春書初め大会

1月5日、香美市第3回新春書き初め大会(市立中央公民館主催)が市立中央公民館大ホールで開催されました。

早朝より幼児から大人まで100人が参加した会場は熱気があふれ、参加者は条幅紙に力強く筆を走らせて「うし」「日本の空」「日新月盛」などの課題を書き上げました。審査の結果、特選20点、優秀46点、入選34点が選ばれました。

(中央公民館)



特選受賞者

- たけ村なつみ(舟入小1年)
- 百田ひとみ(野市東小2年)
- 吉本 貴哉(高知小3年)
- 大久保智司(長岡小3年)
- 中村 祐輔(楠目小4年)
- 門脇 芽以(佐岡小4年)
- 百田 弥生(野市東小4年)
- 井上みなみ(舟入小4年)
- 大久保英香(長岡小5年)
- 今西 史夏(野市東小5年)
- 野口 知沙(山田小5年)
- 渡邊 真也(佐岡小6年)
- 福富 菜由(山田小6年)
- 坂本 麻由(繁藤中1年)
- 吉本 公美(土佐中1年)
- 渡邊 真子(鏡野中2年)
- 大場 貴世(一般)
- 大場 真美(一般)
- 横田 晋三(一般)
- 小松希代子(一般)

(敬称略)